



馬淵こども園 教育目標

自分のまんま

＜自分の思いを素直に表現する子ども＞

やさしさいっぱい

＜相手の思いに気づくやさしい子ども＞

なんでも挑戦 みんなで挑戦

＜どんなことでも自らやってみようとする子ども＞

まぶちこどもえんだより

令和8年（2026年）8月1日
近江八幡市立馬淵こども園

毎日暑い日が続きますが、7月17日で1学期を終え、短時部の子ども達は家庭で夏休み、長時部の子ども達は園での夏季保育が始まり、それぞれの夏の過ごし方になります。

4月に入園してきた3歳児の子ども達も園での生活のリズムがわかり、初めての集団生活を先生や友達と一緒に楽しむことができました。また、進級した子ども達はこれまでの経験や友達からの刺激で意欲的に遊んだり、友達とのかかわりが広がったりした1学期でした。あいさつを自分からしようとする姿も多く見られるようになり、お家の方の意識が子どもの姿につながっていることを感じます。これからも家庭内や地域で気持ちのあいさつが響くことを願っています。

子ども達が安全な日々を過ごせるよう、保護者の皆様、地域の皆様には引き続き子ども達の見守りをよろしくお願い致します。

園の取組にはSDGsがいっぱい!!

玉ねぎの皮で…

園では遊びや生活の中で自然や資源を大切に活動に取り組んでいます。

4歳児たんぽぽ組の子ども達がカレーパーティーの手伝いでたくさんの玉ねぎの皮を剥いたので、使わない玉ねぎの皮で何かできないかと考えました。先生から「玉ねぎの皮でハンカチをきれいな色に染められるんだって。」と聞くと「え～!!やってみよう!!」興味津々の子ども達。早速、みんなでペットボトルに玉ねぎの皮、ハンカチをしっかりと入れ、最後にぬるま湯を入れて、よく混ぜるようにシャカシャカ振り、おひさまパワーで数日休ませました。“どんな色に染まるかな…”とわくわくしながら行程を楽しんでいた子ども達!!最後は魔法の水につけて完成!!きれいな黄色に染まったハンカチを見て大喜びでした。

普段は使って捨てられている野菜の皮にこのような活用の仕方があることを知った子ども達。これからも色々な気づきにつながるような取組をしていきたいと思っています。



堆肥から出てきた芽で…

ゴーヤの栽培を始めたころ、近くに何かわからない芽がたくさん出てきたので調べてみると、土づくりに入れてくださった堆肥から豆の芽が出てきたとのこと。“そんなことなら豆も育ててみよう!!”と早速豆の芽を畑に植えてみることにしました。豆の実ができるのを楽しみに職員や子ども達が頑張ってお世話をしてくれているのでぐんぐん生長しています。

豆の苗がこんなに大きくなりました。



ゴーヤのカーテンで…

市民団体ポレポレ21の方と5歳児と一緒に植えたゴーヤの苗が見事な緑のカーテンになり、太陽の日差しを遮ってくれています。また、ゴーヤの実もたくさんでき、園で調理したゴーヤチップスが子ども達に大人気で「もっと食べたい!」「ゴーヤおいしい!」と苦みがあるゴーヤが苦手な子どもも喜んで食べていました。

日陰を作ってくれたり、体づくりのための栄養となったり…ゴーヤの栽培を通して、環境にふれる機会となりました。



十三楽棒さんの太鼓演奏を聴かせていただきました!!

岩倉町女性会で発足され、長年活動をされてきた十三楽棒の方々がコロナ禍を機に解散されたということで、当時手作りされた大切な太鼓をこども園に寄付してくださいました。7月の誕生会で子どもたちの大好きな曲♪夢をかなえてドラえもん♪で太鼓の演奏を聴かせていただきました。とても素敵な太鼓の音に「かっこいいな〜!」「叩いてみたい!!」「運動会でしたいな。」などと子ども達のわくわく感の高まり、



実際に叩かせてもらえることになると3, 4歳児は自分なりのリズムで、5歳児はしっかりと曲のリズムに合わせてはりきって叩いていました。

十三楽棒の方々の思いを引き継ぎ、いただいた太鼓は大切にに使わせていただきたいと思います。



★ひまわりの方との交流をしました★

5歳児が七夕の笹飾りを作り、千僧供町にある小規模多機能型居宅介護事業所ひまわりさんに届けました。利用者の皆さんや職員の方々と一緒に♪たなばたさま♪の歌を歌ったり、「みんないい子やな。」「かわいいな。」などといった褒めてもらったりして短い時間ではありましたが、温かな交流のひとつとなりました。

これからいろいろな方と触れ合える機会を大切に、人と関わることの楽しさを感じられるようにしていきたいです。



PTA人権教育学習会

子育てママ支援アドバイザーの山本絹江さんをお招きし、からだのおはなし「幼児期からの生命(性)教育」と題して、幼児期からの性教育の大切さについてお話を聞かせていただきました。

性教育について、子どもにどのように伝えていったらいいのか戸惑われている保護者の方が多く、お話を聞かせていただく中で“まだ早いと思っていたけれど、子どもが興味を持ち始めた時にきちんと伝えることが大切”“小さい頃から自然に話せる関係が成長してからも相談しやすい親子関係につながる”“自分が生まれてきた時の話で自己肯定感を育むことができる”“自分らしさを奪わないために子どもの意見をしっかりと聞く”など大切なことを具体的に教えていただきました。また、子どもに伝える時のツールとしてたくさんの参考絵本も紹介していただきました。

これからの子育てに生かせるお話が盛りだくさんで保護者の方々もとても真剣に聞かれていたのがとても印象的でした。



げんきでね集会

こども園には幼稚園籍の短時部の子どもと保育所籍の長時部の子どもが在籍しています。7月20日から短時部の子ども達は夏休み、長時部の子ども達は夏季保育となり、それぞれの生活が始まるため、保育室の大掃除をしたり、17日には元気でね集会をしたりしました。集会では『早寝・早起き・あさ(あいさつ)・し(食事)・ど(読書)・う(運動)』について暑い夏を元気に過ごせるように話をしたり、防犯について『いかのおすし』(ついて行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる)の約束をしたりしました。今度みんなが揃うのは9月1日です。みんなが元気に揃う日を楽しみにしています。

